



SHIRETOKO ! SUSTAINABLE 海と、森と、人。
持続可能な地域づくりのための
斜里町関係人口創出プロジェクト

関係人GO!

斜里町、北海道
Shari town Hokkaido



斜里町について



SHARI

みどりと人間の調和を求めて

知床国立公園、世界自然遺産のある
海と、森と、人のまち



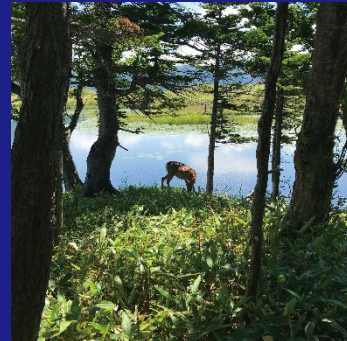
流氷を起点とした、海・川・森の生命のサイクルがもたらす豊かな恵みを大切に暮らす人口10,000人の小さなまちです。
斜里町の基本理念は「みどりと人間の調和を求めて」。
いまだに手つかずの大自然がある知床は、私たちに学びと、自然に触れる楽しさを与えてくれます。

環境のまち



かつて乱開発の危機にあった知床国立公園内の開拓跡地を原生の森に戻す「しれとこ100平方メートル運動の森・トラスト」を実施

観光のまち



知床五湖・カムイワッカ湯の滝のぼり等、雄大な自然があります。一方、100室以上あるホテルや個性的な宿もあります。

漁業のまち



鮭の水揚げ日本一のまちです。豊かなオホーツク海に面していることもあり、日本有数の鮭の漁場として知られています。

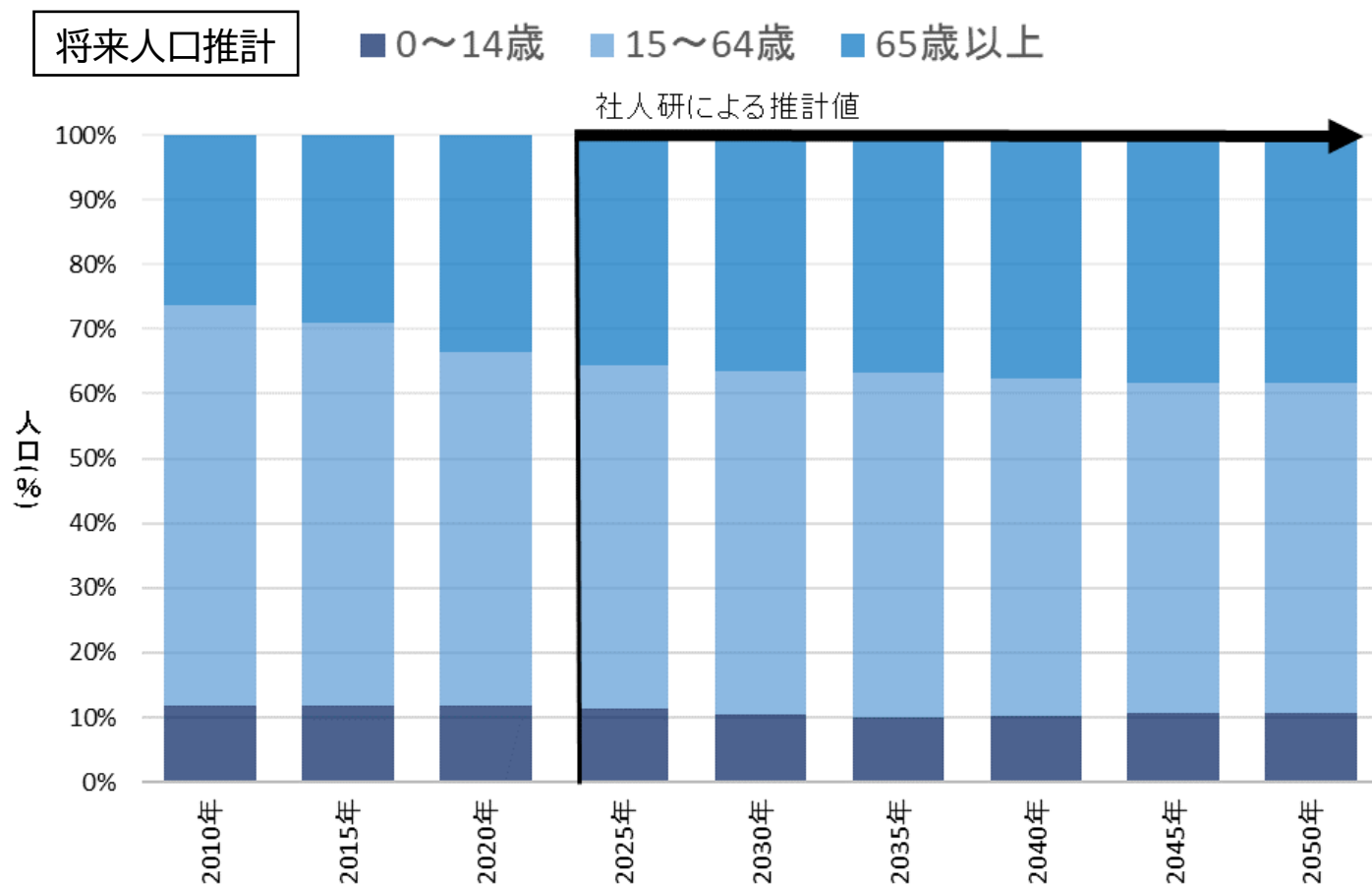
農業のまち



小麦、てん菜、ジャガイモの名産地として知られています。ニンジンも北海道内の有数の産地として注目されています。

現状と課題

- ・総人口は、社人研の将来推計では2050年に令和2年（2020年）の11,418人から▲4,474人減少（▲39%）、6,944人となる予測
- ・経済活動を支える15歳から64歳の人口は、2050年に令和2年（2020年）の6,239人から約2,700人減少（▲43%）、3,538人となる予測
- ・年齢別の人口割合は、2050年には町全体の38.3%が65歳以上となり、被扶養人口（年少人口と老年人口の合計）が生産年齢人口と同程度



人口減少状況下の前提のもと、必ずしも移住定住人口だけではなく、斜里町をフィールドに町に貢献する“活躍人口”を増やすために以下に取り組んでいます。

- ・斜里町への定期的かつ継続的な訪問
- ・地域活動への積極的な参加
- ・地域住民や企業との交流
- ・斜里町への関わりを通じた、町の発展への貢献

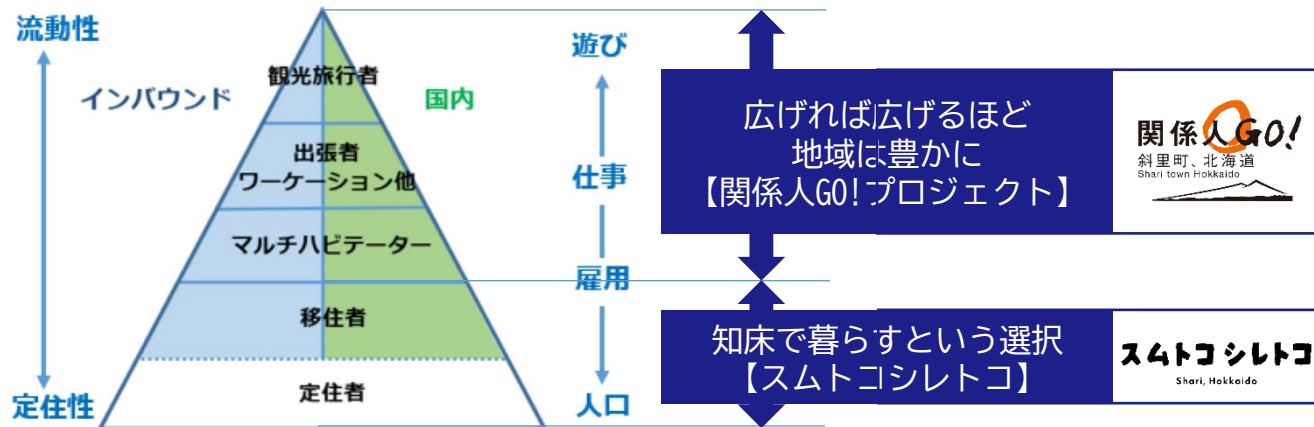
事業の目的

担い手不足による地域経済の停滞や、地域の自立性の低下に対応するため、官民連携で若者や女性に選ばれる地域としての地位をさらに発展させ、ターゲット層へのコミュニケーションを通じて、地域への関心を高め、二地域居住希望者や企業研修、学生、地域おこし協力隊、インターンなど観光や移住者の間のグラデーションを濃くする多様な関係人口の創出を目指しています。

関係人口創出拠点
「関係人GO!ラボ」
(斜里町本町)



観光と地方創生のターゲット構造



令和3年度知床観光ブランディング強化業務より by Think Farm

内容

地域ブランディング

写真家 石川直樹氏の写真を使用したブランドブック製作、ブランドシンボル「知床トコさん」の活用



知床トコさん



ブランドブック

ブランディング



詳細はこちら

(株)ゴールドウインとの地域活性化に関わる包括連携協定を締結



特設サイト

プロモーション&コミュニケーション

R7は拠点整備や設置を通じた体制整備。R8は、域内外で多様な関係人口ネットワークによる地域との優良なマッチング創出を目指しています。



北海道大学×
斜里町イベント



二地域居住イベント



企業様との 関わり

社会貢献活動&企業研修



斜里町や行政と関わりの深い公益財団法人 知床財団が連携し、企業の社会貢献につながる取り組み等についてサポートしています。企業の新たな価値を創造するための貢献が可能です。

地域課題解決に向けた共創



北海道・知床半島に漂着したブイ(浮標)を原料としフリスビーを、知床国立公園60周年・世界遺産登録20周年を記念してTHE NORTH FACEとSnow Peakのダブルネームで作成しました。

持続可能な地域社会づくりのための活動を共に創ること

これが私たち斜里町の関係人口施策です



企業様のメリット

- ・ 寄付をきっかけとした斜里町と関わる機会の創出
行政や地元企業と地域資源を生かした新事業の展開、事業進出
- ・ 地域貢献による企業イメージの向上
地域課題解決への参画のPR (感謝状の贈呈、町HP等への企業名の公表)

斜里町HP
企業版ふるさと納税



ご連絡・お問合せ先

斜里町総務部政策推進課
TEL 0152-26-7708